

令和3年度 自己点検・自己評価結果

1. 評価基準

「看護師学校養成所の自己点検・自己評価指針」（看護師等養成所の教育活動などに関する自己評価指針作成検討委員会まとめ）を令和2年度より当校の学校評価委員会において改定した評価基準に基づいて自己点検・自己評価を実施しており、令和3年度においても改訂版を活用して自己点検・自己評価を行った。

2. 評価点

- 4点：よく当てはまる・・・70%以上満たしている
- 3点：当てはまる・・・30%～70%満たしている
- 2点：あまり当てはまらない・・・30%以下しか満たしていない
- 1点：当てはまらない・・・満たしていない

3. 評価者

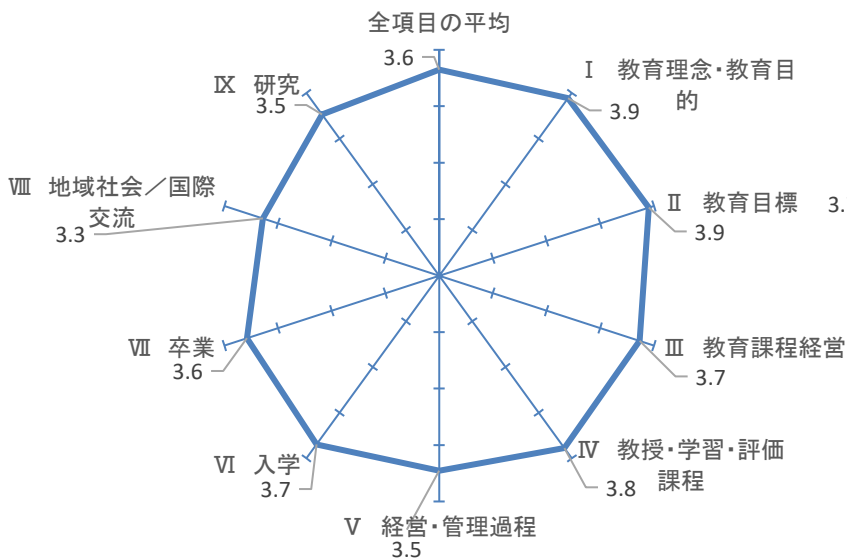
教職員全員（教員・事務）及び担当理事

4. 結果

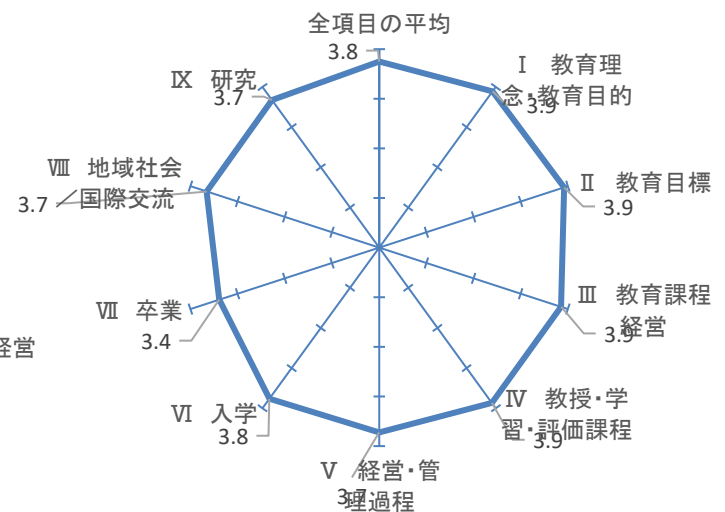
【3年課程】

【2年課程通信制】

3年課程 令和3年度



通信課程 令和3年度



5. 総括

- 1) 自己点検・自己評価は、良い学校作りを目指して実施しており、項目ごとに分析した結果を以下の3つの視点でまとめる。

(1) 評価点が3点以上で、学校として評価できる項目

I～IXすべてが3点以上であり、3年課程、2年課程通信制ともに自らの教育活動や学校運営について適正に取り組んでいるとの評価結果であった。

I 教育理念・教育目的・II 教育目標・III 教育課程経営・IV 教授・学習・評価課程の評価は、3.7～4.0と高評価である。

3年課程においては新カリキュラム申請があり、2年課程通信制はカリキュラム改正に向けカリキュラム評価及びカリキュラム検討を行った。教育理念・教育目的・教育目標は一貫性があり、本校の目指すべき指針になっている事が確認され、法的整合性や教育についての考え方の理解が深化した。

III 教育課程経営においては、科目、単元構成のレベルから整合性、連続性を考慮した看護師養成に必要な実践的職業教育が展開されている。

IV 教授・学習・評価課程でも、学習内容に応じて授業形態を選択し、理論・知識・技術・看護者としての対象への配慮が統合して学べるよう全教員が工夫し、進度に応じた学習支援が行われている。また、コロナ禍の学習支援としてリモート授業や学習資料の工夫、演習の工夫等教員全員で取り組んだことが高評価につながったと考える。

V 経営・管理過程・VI 入学・VII 卒業・VIII 地域社会・国際交流・IX 研究の評価は、3.3～3.8である。

経営・管理過程は、学校設置者と管理者の考え方や組織の体制における役割機能は明確である。

入学は、入試委員会において選抜基準の妥当性を検証し、一貫性のある入学選抜を行っており、卒業は、卒業時の到達状況をとらえる方法が明確であり、卒業認定会議を経て認定されている。

地域社会・国際交流は、コロナ禍のため積極的な活動ができなかったが、地域の高等学校の職業教育等の要請に応じて可能な範囲で継続した。

研究は、コロナ禍により多くの研修や学会がオンライン開催となったことを活用して参加する機会があり、研究協力依頼への協力等、研究に価値を置く職場風土が継続されている。

(2) 大項目では3点以上だが、中項目、小項目で確認された課題

III 教育課程経営：小項目＜授業に対する準備の時間が取れるように担当科目や時間数を配分している＞ 3年課程では昨年 3.5 から 3.1 と低下した。2年課程通信制では昨年 4.0 から 3.9 と横ばいであった。3年課程においては、新カリキュラム検討で多くの時間が費やされたことや、学生との個別面談や個別指導、保護者を交えた三者面談等に多くの時間を要していることなどにより、授業や実習以外の時間が増している点が課題である。

V 経営・管理過程：中項目＜施設設備の整備＞3年課程で昨年 3.5 から 3.0 に低下した。2年課程通信制では昨年 3.6、今回 3.6 と横ばいであった。3年課程においては、コロナ禍の為学内実習への代替え対応等により3密回避の為の教室調整に苦慮することがあり、学習環境が思うように整えられない事等が要因であると考えられる。

VII 卒業：小項目＜卒業生の就職先との情報交換ができる体制を整えている＞3年課程は昨年 3.3 から 3.2 とやや低下し、2年課程通信制では昨年 2.8 から 2.8 と横ばいで低評価である。カリキュラム評価の材料としても重要な就職先との情報交換は以前からの課題である。

(3) 自由記載内容から確認された課題

評価点は 3.5 以上で高評価であるが、自由記載内容からさらなる良い学校作りの課題を検討した。

Ⅲ教育課程経営：中項目＜教員の教育・研究活動の充実＞「研究授業の機会がほとんどなかった」等の記載があり、教員の授業力向上に向けた授業研究や公開授業等の取り組みの不足が課題である。

Ⅴ経営・管理過程では、「管理者の学校運営の考え方の周知不足」が指摘されており、運営方針の周知が課題である。また、人権の配慮に関してハラスメント相談窓口の周知が課題として挙げられた。